



2021. 2. 1.

2月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸 YMCA ちとせ幼稚園

トレーナーの下にダウンを着込むくらい寒いかと思うと、翌日はトレーナーも要らないほど暖かな良い天気になり、その後に曇って雨が降り、そしてまた寒くなる。「三寒四温」と呼ばれる周期的な天気の移り変わりが、今年は、特にはっきりしているような気がします。

園庭のタイヤブランコを挟んで梅と桜の樹が植えられています。桜は水平に伸びる枝が登り易いでしょう、子どもたちに人気があります。そのため、樹には枝が折れた跡がいくつか見えます。一方梅は、剪定していないこともあって小さな枝が至る所から伸び放題に出ていて登り難く、子どもたちは寄り付きません。

「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」と言います。「切る」は「枝を剪定する」ことで、「桜は枝を切ると枯れることがあるので切ってはいけない、梅は小さな枝がたくさん出るので切るのが良い」ということわざです。その「教え」とは正反対の「桜折る馬鹿、梅折らぬ馬鹿」な幼稚園の状況ですが、どちらの樹も、自然の恵みと、子どもたちの元気も受けて、毎年花を咲かせて楽しませてくれます。

先日の暖かだった日、降園バスを送り出した後、ぽつりぽつりと咲き始めた梅の花を数え、花の兆しは未だない桜を眺めながら、「桜さんは、いつも子どもたちに囲まれて良いなあ」と梅が言うと、「梅さんは、枝を折られないし好きに伸ばせて良いなあ」と桜が返す、そんな想像をしていました。

樹は其々に、花が咲く時期、その姿形や全体の風情にも、替え難く素晴らしい個性があります。子どもたちの感じ方や表現の仕方にも、其々に個性があります。そして今、子どもたちは生活発表会に向けて、自分の内にある思いや感情を表現しようとしています。自分が何かを表現すると、それが周囲に伝わって、次の何かが起こる。それが歓びへと繋がっていく。その体験がとても大切なことだと考えています。今年は、参観していただく人数を制限せざるを得ない状況で、保護者の皆さまには本当に申し訳なく思いますが、どうか無事に開催できるように願っています。

年主題 『こころが満たされる』

<年主題聖句> 「喜びと平和であなたがたを満たす」

(ローマの信徒への手紙 1 15章 13節)

2月主題 『なかまと心あわせて』

<聖句> 「愛は、すべてを完成させるきずなです。」

(コロサイの信徒への手紙 3章 14節)